

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	周産期合併症と母乳育児導入率の関連性の調査		
2. 対象患者	当院で分娩し産褥1か月検診を受けた妊婦		
3. 対象となる期間	2019年1月1日 ~ 2023年12月31日		
4. 実施診療科等	産婦人科		
5. 研究責任者	氏名	横山美奈子	所属 産婦人科
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任者)	なし		
7. 研究の意義	妊娠中に合併症や精神的トラブル等が母乳育児に何らかの影響を及ぼすか評価するため		
8. 研究の目的	<p>当院は地域周産期センターとして津軽地域での妊娠30週以降のハイリスク妊婦の周産期管理を担っている病院ですが、更に「赤ちゃんにやさしい病院:Baby Friendly Hospital(BFH)」に認定されております。母乳は栄養価が高く新生児の免疫力向上につながることに加え、児の肥満予防につながる可能性も報告されています。</p> <p>さらに妊婦のメンタルヘルスケアについて、お産を終えた妊婦さんはいろいろなストレスで産後うつ病になりやすいといわれております。そこで当院では産褥2週間での母乳外来で母乳導入状況に加え、エジンバラ産後うつ病自己評価票(EPSP)で産後うつ病のスクリーニング検査を行い、必要な方々に精神的ケアを行うよう努めております。</p> <p>そこで母乳育児支援の状況、母乳導入率、周産期合併症、EPSPとの関連性を評価するために、当院で周産期管理を行った妊婦の方々における周産期合併症の有無、母乳導入状況、EPSP結果を抽出し、それらの相関性について検索することとなりました。</p>		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する 場合の方法等)	当院のカルテに記録されている情報の内、妊娠・分娩時の情報(妊娠分娩歴、分娩週数、分娩時出血量、児の体重、臍帯動脈血液検査情報等)や分娩後の母乳育児状況を利用させていただきます。		
10. 個人情報の保護	利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して(これを匿名化といいます)行います。研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。		
11. 利益相反に関する状況	なし		
12. 連絡先	弘前総合医療センター		
	電話	0172-32-4311	FAX 0173-33-8614